

MEDIA RELEASE • COMMUNIQUE AUX MEDIAS • MEDIENMITTEILUNG

2020年3月2日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI） 「LCZ696」の日本における共同プロモーション契約締結のお知らせ

ノバルティス ファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：綱場 一成、以下「ノバルティス ファーマ」）は、2月29日、大塚製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：樋口 達夫、以下「大塚製薬」）と、ノバルティス ファーマが慢性心不全を予定適応症として開発中のアンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）「LCZ696」（一般名：サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物）の日本国内における共同プロモーションに関する契約を締結しましたので、お知らせします。

本契約の締結により、ノバルティス ファーマと大塚製薬が共同して日本におけるLCZ696の医療従事者へのプロモーション活動を実施します。ノバルティス ファーマは、契約一時金（100億円）に加え、目標達成に応じたマイルストーンを大塚製薬から受け取ります。また、ノバルティス ファーマは、売上に応じたプロモーションフィーを大塚製薬に支払います。なお、契約一時金以外の経済条件については開示されません。

LCZ696は、心臓に対する防御的な神経ホルモン機構（ナトリウム利尿ペプチド系）を促進すると同時に、過剰に活性化したレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系（RAAS）による有害な影響を抑制することで、機能不全に陥った心臓の負荷を軽減する新しいタイプの薬剤です^{1,2}。現在、ノバルティス ファーマが慢性心不全を予定適応症として国内申請中です。

ノバルティス ファーマ 代表取締役社長 綱場 一成は、次のように述べています。「心不全領域に深い知見を有する大塚製薬と今回の契約を締結できたことを大変嬉しく思っています。このパートナーシップにより、慢性心不全に苦しむ患者さんの医療ニーズを、より一層満たすことができるものと期待しています」

また、大塚製薬 代表取締役社長 樋口 達夫は、次のように述べています。「当社の最重点領域である腎・循環器領域における取り組みとポートフォリオを世界のリーディングカンパニーであるノバルティスに評価していただいたことを光栄に思います。両社が協力して、慢性心不全の患者さんに新たな治療選択肢をお届けできることを楽しみにしています」

ノバルティス ファーマは循環器・腎・代謝領域を重点領域の一つに位置付けています。本契約の締結により、LCZ696を通じてより多くの日本の慢性心不全患者さんの治療に貢献することを目指します。

ノバルティス ファーマ株式会社について

ノバルティス ファーマ株式会社は、スイス・バーゼル市に本拠を置く医薬品のグローバルリーディングカンパニー、ノバルティスの日本法人です。ノバルティスは、より充実したすこやかな毎日のために、これからの医薬品と医療の未来を描いています。ノバルティスは世界で約 10 万 9 千人の社員を擁しており、7 億 5 千万人以上の患者さんに製品が届けられています。ノバルティスに関する詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.novartis.co.jp>

以上

参考文献

1. EMA. Entresto (sacubitril/valsartan). Summary of product characteristics. Available at: http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/EPAR_-_Product_Information/human/004062/WC500197536.pdf. Accessed July 2019.
2. Langenickel T, Dole W. Angiotensin receptor-neprilysin inhibition with LCZ696: a novel approach for the treatment of heart failure. *Drug Discov Today*. 2012;9(4):e131-139. doi: 10.1016/j.ddstr.2013.11.002.